

ターラさんの近況について

ターラさんは、昨年 12 月 25 日に臍帯血移植を受け、その後順調な経過を辿ってきていましたが、今年 11 月の定期検査（毎月 1 回実施）において、白血球の異常数値が判明したため骨髄検査を行いました。その検査結果からの所見として、主治医より「再発」の告知がされました。そのため、11 月 21 日に緊急入院しました。主治医と相談の上、まずは抗がん剤治療の道を選び、その治療が開始されました。

告知の際に、主治医から、現世における残された時間の少なさについても知らされました。このことはターラさんにとって、まさに天国から地獄へと突き落とされてしまったようなでき事であり、辛く厳しい状況に再び置かれる現実を覚悟しなければならないことを意味していました。

また、移植には、＜寛解の状態であること＞と＜ドナーがいること＞の両方の条件が満たされる必要があるということです。しかし、主治医の所見によると、再発の場合、寛解の状態の維持は極めて難しいし、ターラさんは混血児であるがゆえに日本国内でドナーを見つけることも難しいということでした。したがって、再移植をするためには、これからまだ幾つもの高いハードルを超えなくてはならないこととなります。

ターラさんはこのような状況の中にもありながらも、時には折れそうになる気持ちと闘い、それに打ち勝てるように神様に支えられながら、かつ今後のこと一切を、すべて神様に委ねながら、「再移植できる」という希望を強く持って、これからの辛い治療に前向きに臨んでいこうとしています。人間の経験や知識からするとたいへん困難な現況にありますが、ターラさんは「神様の奇しい御業」がその身になされることを信じて、これからも一歩ずつしっかりと歩もうとしています。お祈りください。

＜聖書のことば＞

“わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。

－主の御告げ。－

それは、わざわざではなくて、平安を与える計画であり、

あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。” （エレミヤ書 29：11）

ターラさんのために、これからも篤い祈りを、切にお願いいたします。

「ターラさんを支援する会」 岩原 吉治